

# 漫湖水鳥・湿地センター

# たよひ

2006年11月10日発行 No.40



## 自然観察会 漫湖自然観察ウォーキング



10月29日(日)、講師に高原健二先生(名護養護学校教諭)を迎え、「漫湖自然観察ウォーキング」を行いました。

まず、館内で沖縄の野鳥や自然についての説明がありました。さまざまな野鳥の紹介に加え、動物とエサとなる植物の関係など、自然全体が関わりあってこの自然が成り立っているということを考えさせられるお話でした。

次に、野外観察に出発です。センターを出てすぐにコサギを発見しました。双眼鏡で観察していると、上空にミサゴも出てきました。

鳥の観察だけではなく、マングローブの観察をしたり、イヌビワの実を食べてみたり...

サキシマハマボウの葉では、ビービー笛を作りました。

た。子供よりも大人のほうが夢中になってつくっていましたが、なかなか音が出ません。結局、うまく吹けているのは子供たちでした。

高原先生に教えてもらいながら、漫湖の自然を観察していると、おもしろいものばかりで、なかなか先へ進めませんでした。

野鳥、植物、カニ...いろいろな生きものの観察を通して、その生きものたちのつながりを感じることができる観察会でした。

♪ビービー♪  
サキシマハマボウ  
の笛だよ！



説明をする高原先生。  
分かりやすい説明に参加者も納得!!



双眼鏡で野鳥観察。橋の上からは、アオサギなどをしっかり見る事ができました。

## ＋ 仲井真中学校 職場体験学習 ー

10月19～20日に仲井真中学校の生徒さん4名が職場体験学習にやってきました。

センターの設置目的や仕事の心構えなどを学んだ後、センターの仕事を体験しました。

芝生や花への水やり、草刈り、本の整理、行事の準備など、2日間で体験した仕事のほとんどが地味な裏方の仕事でしたが、まじめに取り組んでくれました。

2日目の終了時間間際に、1組のお客さんが来館しました。それまで接客はあまりできなかったもので、ドキドキしながら接客に挑戦です。望遠鏡の使い方などを説明しました。お客さんに楽しんでもらうことができたか

な？

最後のまとめでは、「接客などの仕事を中心だと思っていたが、その他の仕事がとても多くびっくりした。」「お客さんに話しかけるのはとても勇気がいり、思っていたよりも難しかった。」などの感想が出てきました。

仕事をすることの難しさ、大変さ、そして楽しさを感じてもらえたのか、帰っていく姿が少したくましく見えました。



草刈作業。体力仕事もがんばってくれました。



「表彰式のしおり」をつくりました。



接客でドキドキです。うまく説明できたかな？

## 自然情報発信 ～秋を運んでくるもの～

夜も明けぬ午前5時ごろ、あたりは暗い。「グワァーグワァー、ピューイピューイ…」

アオサギ・シギ・チドリ達の鳴き声で目が覚める。

「渡り」の時である。

ここ漫湖にもようやく秋がやってきた。

季節を感じるものには、他にさまざまなものや出来事もある。

本州あたりでは、紅葉なども見られる。

さて、秋といえば木の実遊びがある。

ここ沖縄では、木の実を集めるのはままならぬと思う人もいるのではなからうか。しかし、車を降りて道をぶらぶら歩いてごらん。木の実があなたを待っているよ。

それと、当漫湖水鳥・湿地センターには、千葉県谷津干潟自然観察センターの職員の方からの秋のメッセージである木の実・ドングリも届いている。

そうです。秋を運んでくるもの、それは、自然、人ですね。

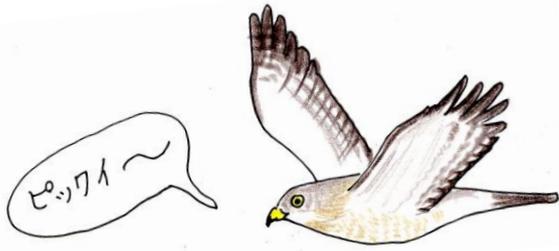
そこで、来る12月17日(日)には、千葉と沖縄の秋の恵みを使ってトトロやリースを作ります。センターからの秋のプレゼントです。ぜひ、ご参加ください。



谷津干潟自然観察センターからいただいたドングリで作ったトトロ。

# 漫湖水鳥かわら版 40

～10月 秋を告げる鳥たち～

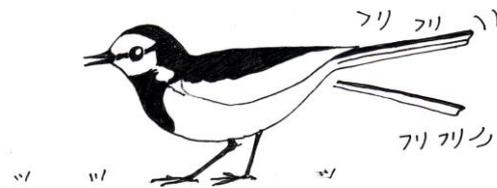


10月21日 ハクセキレイ

10月上旬、秋晴れの空に響く「ピッパイ」という鳴き声を聞きました。沖縄に秋の到来を告げるサシバが渡ってきたようです。

それから2週間後、センターの芝生にもう一羽秋を告げる鳥がやってきました。ハクセキレイです。

尾を上下に振る姿がかわいいハクセキレイはセンター職員のアイドルです。また、毎日楽しませてくれそうです。



10月	羽数	先月との比較
ダイサギ	11	↓
チュウサギ	10	↑
コサギ	10	↑
アオサギ	28	↑
ミサゴ	1	→
バン	2	↑
シロチドリ	3	↓
オオメダイチドリ	1	↓
ムナグロ	43	↑
ダイゼン	6	↑
トウネン	29	↓
ハマシギ	9	↑
アカアシシギ	18	→
アオアシシギ	22	↑
キアシシギ	11	↓
イソシギ	16	↑
オオソリハシシギ	1	→
ダイシャクシギ	5	↑
ホウロクシギ	1	↓
チュウシャクシギ	15	↓
セイタカシギ	1	↓
カワセミ	2	↑
キセキレイ	1	→
ハクセキレイ	1	↑
合計	247	↓

10月24日 マングース

センターの望遠鏡で干潟を観察していると、すばやく干潟を移動する影が見えました。

その正体は、「マングース」です。人間ならズブズブはまってしまう漫湖の泥干潟もマングースはスイスイ歩いていきます。

マングースがたどり着いたのは、干潟に仕掛けられたカニカゴです。なんと、カニカゴの中にあるエサを食べ始めたのでびっくり!!

カニカゴのエサを食べても、干潟の鳥は襲わないようにしてほしいですね。



## \* \* 行事のお知らせ \* \*

### 講演会

#### 「沖縄の自然と貴重な生きものたち～生きものたちの標本を間近に観察しよう～」

日 時:11月26日(日)16時～18時(15時半開場)

\*当日は、準備のため臨時休館となります。

講 師:佐々木 健志先生(琉球大学資料館学芸員)

場 所:漫湖水鳥・湿地センター

定 員:100名(要予約・先着順)

お願い:駐車場があまり広くありませんので、公共交通機関でお越しください。(モノレール奥武山公園駅より徒歩 15 分)また、車でご来場の際は、乗り合わせでお越しください。

主 催:漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会

協 力:琉球大学資料館(風樹館)

後 援:那覇市教育委員会・豊見城市教育委員会

(株)沖縄タイムス社・(株)琉球新報社

お申込・お問い合わせ:

漫湖水鳥・湿地センター TEL : 098(840)5121

### 漫湖水鳥・湿地センター 絵画・作文コンクール 表彰式

日 時:11月26日(日)13時半～14時半

場 所:漫湖水鳥・湿地センター レクチャー室

### 団体利用

10月	
学童・児童クラブ	地 域
ひかり保育園	那覇市
小学校	
垣花小学校5年生	那覇市
眞壁小学校5年生	糸満市
渡嘉敷小学校	渡嘉敷村
高嶺小学校2年生	糸満市
とよみ小学校6年生	豊見城市
米須小学校5年生	糸満市
中学校	
佐敷中学校1年生	南城市
高等学校	
南部農林高等学校	豊見城市
小禄高等学校	那覇市
その他	
沖縄県税務管理視察研修	全県より

♪ ようこそ ♪

## 漫湖水鳥・湿地センターへ



**総入館者数  
70,319名**

**10月の入館者数  
1,602名  
(うち団体 739名)**



\* \* \* 編集後記 \* \* \*

水面の秋

エサをついばむ鳥たち  
漫湖がにぎやかになる時



広川 ヨシ子

〈 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会 (環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市) 〉

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ～ 17:00 休館日: 月曜日 (月曜日が祝日の場合・翌日)、年末年始 (12/29 ～ 1/3)

E-mail: [manko\\_mizudori@ybb.ne.jp](mailto:manko_mizudori@ybb.ne.jp)

HP: [http:// www.geocities.jp/manko\\_mizudori/](http://www.geocities.jp/manko_mizudori/)